

大会中に起きたルールに関する事例と判断

2021.04.13 競技部・ルール委員会

	事 例	判断
1	県大会出場資格を持っているにもかかわらずAに参加した	さいたま市テニス協会が開催に関係する大会に原則、1年間参加停止。資格取得した時点で参加辞退する事。大会参加資格細則「大会運営上のペナルティについて」県大会出場有資格者の春季、秋季大会参加。
2	ペアで、ジャッジが食い違った。	違ったジャッジをしたペアの失点。 ダブルスの判定とコールは、1人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。ペアの判定が食い違ったとしても「フォルト」「アウト」をコールしたプレーヤーが直ちに「グッド」に訂正した場合は、1回目に限り故意ではないとしてポイントレットとなる。(セルフジャッジの方法4)
3	ジャッジを巡りトラブル、納得できない一組がリタイア	「納得できない」という理由では、リタイアできない。試合をやめたら失格となることもある。
4	試合途中で「用事があるから帰る」と対戦相手に言い残し、大会本部にリタイアする理由を述べずに帰り、他の試合に参加。	リタイアする場合はレフェリーにを呼ぶ事。試合に勝つためにベストを尽くす、正当な理由なしに進行中の試合を途中でやめてはならない。失格になることもある。(コードオブコンダクト4.5)
5	サーブをしようとしているのに、レシーバーがずっと動いている。サーブするタイミングが取れず嫌がらせとしか思えない。	サーバーはレシーバーの用意が出来るまでサーブをしない。レシーバーは、サーバーの理にかなったペースに合わせ…返球の用意をする。(規則21 サーブとレシーブをする時) 必要以上に動いた場合妨害と判断される場合がある。
6	ノットアップしたので「ノットアップですよ」と言っただけで、相手が「ノットアップはしていない。プレイを止めたので失点」と言われた。	「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は両プレーヤーチームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。」(セルフジャッジの方法 12b) 相手がノットアップを認めない場合は、レット
7	ファーストサービスがフォルトだったのでボールをネットに掛けたつもりが相手のコートに転がって行ってしまった。サーバーはセカンドサービスのモーションに入っていたが、レシーバーが危ないのでサービスを止めた。	レット サービスのやり直しでファーストサービス。
8	相手の応援が煩くて試合に集中できなかった。	レフェリーを呼び、注意してもらう。声を出しての応援はコーチング、妨害にあたる場合もある。
9	インプレー中コンタクトレンズを落とした。踏んでしまわないか心配だった。	そのポイントは失うが、直ぐにプレーを止め、レフェリーを呼び探すことは出来る。
10	受付締切時間に間に合わないで、替え玉受付をした。	1年間の参加停止、発覚した時点で失格。 さいたま市民テニス大会参加資格細則「大会運営上のペナルティについて」 *申込者と異なった替え玉、名義貸し、代理参加(名義人、代理人、パートナーも含む)
11	試合に入るようコールしても選手が現れない。	コートに入るよう指示を受け、それから15分経っても、来なかったら失格。
12	トスで勝ったチームが「私達はコートを取るから、あなた達は何を取る？」そう聞かれたトスに負けたチームが「コートはどちらを取りますか？」と尋ねたところ当日は風の強い日だったので「あなた達がサーブを取るか、レシーブを取るか決めてから、どちらのコートにするか決めろ」と言われた。正しい？	正しくない。 トスで勝ったチームは「コートを取る」なら「エンド」を先に決めなくてはならない。 (規則9 エンドとサービスの選択)
13	サーブの順番を間違えた	正しい順番に戻す 間違えたまま1ゲームが終わってしまったら、入れ替わったままの順番で行う(規則27 間違いの訂正C)
14	第2サービスのモーションに入ってからレットのときは？	セカンドサービスのモーションに入ってから(インプレー中)のレットは、第1サービス(規則23 レット)
15	サーバーがファーストサービスがフォルトで返球されたボールを拾い、セカンドサービスをするサイドを間違えた。レシーバーもそのポジションについたが、サーブを打たれた後間違いに気づきボールを止めた。	ボールを止めた時点で、止めた方の失点(規則24 プレーヤー・チームの失点) モーションに入る前なら止める事が出来るが、それ以降はインプレーとなり、そのポイント終了後正しいポジションに直す。

16	サーブがフォールトだったのでハンドシグナルで「フォールト」を伝えて普通に返球。サーバーはハンドシグナルに気付かず、返球されたボールがアウトだったので「アウト」とコールしボールを拾いに行った。レシーバーがその後姿に向かって、「今のはフォールトだった」と言った。サーバーは「コールが遅すぎるからその判断は無効」だと言う。	フォールト セルフジャッジは、相手コートの判断に従わなければならない 判定ははっきりとした大きな声とハンドシグナルを使って速やかに行う（セルフジャッジの方法3）ただし、どちらかだけでも有効
17	ポイントが分からなくなった。	合意できるスコアまでさかのぼり、合意できるポイントを足したスコアから再開する（そのポイントに合ったサイドから：セルフジャッジの方法 8）ダブルスであれば、ペア二人のうち解っている片方の人の意見だけでよい。
18	レシーバーはどこに立ってもよいのか？ダブルスならペアのポジションは？	ネットからレシーバー側なら、コート内外のどこに立ってもよい。（規則8 サーバーとレシーバー）
19	タイブレークで最初のサーブをアドコートから始めてしまい、両チーム気付かず続行し終了した。	試合終了してしまったので結果はそのまま タイブレーク・ゲーム中、サービスのサイドが間違っていることに気づいた時は、偶数ポイント→直ちに正しい順番に、奇数ポイント→入れ替わったまま（規則27 間違いの訂正d）
20	クレートコートでボールマークの確認する際、相手のコートに入っているか？	入って確認していい 相手にボールマークの確認を要求できる、必要であれば相手コートに入ってボールマークを見ても良い。相手とボールマークが一致した場合、「イン」「アウト」を協議できるが、違った場合は、最初のコールが成立する（セルフジャッジの方法5）
21	オムニコートでボールマークを確認する際、相手のコートに入っているか？	入ってはいけない。 クレートコート以外はボールマークのチェックを行うことは出来ない（セルフジャッジの方法5）
22	ネット際に落ちたボールを相手が打とうとした時に動いたら「大きな動きは妨害だ」とクレームをつけられた。本人はフェイントのつもりだった。	フェイントは妨害にならない。 インプレー中、相手が故意にそのプレーを妨げた場合は、相手の失点になる。（規則26 妨害）
23	自分のバイザー・サングラス・ボールを落とした時レットをかけられるか？	自分の落とし物にはかけられない。（セルフジャッジの方法7）
24	ボールを打った後にラケットがスコアボード（ボールに付ける比較的大きい物）に当たったので失点ではないか？	スコアボードはポストの一部と考えない。タッチは取れない。
25	ガットが切れ、コート外にラケットを取りに行ってしまう、相手からクレーム	コートの外に出ると、失格となる場合もある。 規定の時間内で大会役員がラケットの交換に同行します。また、試合を中断しないで続けることが大切なので、ストリングが切れたままプレーを続けることもできる。（規則4 ケース4）
26	試合終了後に相手チームにコーチングがあったとの報告あり。	試合中、誰からもコーチングを受けることは出来ない（規則30 コーチング）
27	サイドに振られたボールをやっと取った時に「あっ！」と声が出て返球したら、相手が「アウト」と聞こえボールを止めたが、「入っていませんか？」「入っていましたよ」「アウトって言ったから止めたのに」「言ってもせん・・・」	レット 「あっ！」は、アウトにも聞こえる紛らわしい声のため。相手が無意識にプレーを妨げた場合はポイントのやり直しとなる（規則26 妨害）

さいたま市独自のルール

1. エンドチェンジは60秒です（通常90秒）
2. 筋痙攣を含むメディカルタイムアウト3分が取れます（通常筋痙攣は取れない）
3. 先にコートに入った選手から「相手が来ていない」とレフェリーに申し出が有った時から15分計り来なかったら失格

選手の方々は、ルールを理解し、マナーを守り試合がスムーズに進行できるようご協力をお願いします。

レフェリー又はローピングアンパイヤは、選手からの要請があったらコートに入り、試合がスムーズに進行できるようお手伝いします。